

# 中国のリハビリテーションの発展とセラピスト教育の現況

ゴ ア シン<sup>1)</sup> 陶山沙沙<sup>2)</sup> 薛 春<sup>3)</sup> 東嶋美佐子<sup>4)</sup>  
宮原洋八<sup>4)</sup> 宮本 明<sup>4)</sup>

**要旨：**中国のリハビリテーションの発展とセラピスト教育の現況について報告した。中国ではリハビリに対する需要が非常に高い一方で、専門的な知識や技術を持ったリハビリ専門職が不足している。特にリハビリが必要な患者に十分なサービスが提供されていないと言いがたい。その背景には、中国のリハビリ専門職の資格制度や教育制度の整備の遅れと、リハビリを提供するシステムが整備できていないことが考えられる。これらについては、中国政府やリハビリの各関連団体等も認識しており、総合的なリハビリシステムの強化を模索し実行する最中であり、今後の更なる進展が期待される。

**キーワード：**中国、リハビリテーションの歴史、セラピストの現状

## 1. 中国の医療機構の概況

中国の医療機構では、日本の病院のことを「医院」と呼び、精神疾患やリウマチ、結核などの特殊疾患を取り扱う「病院」と療養型病院の「療養院」と区別される。また、病院はインフラの整備状況や機能、役割から三等級別に分類・管理され、医療水準は三級病院が最も高い。さらに公立病院は、民間病院よりも施設数・病床数が多く、医療サービスの質も高い傾向がある。

## 2. 中国のリハビリテーションの「起承転結」

中国の Rehabilitation (リハビリテーション：リハビリ) は、伝統的な中国医学と西洋医学の両方を取り入れて進化してきたが、その発展は国際的援助、障害者の自立と支援、そして国民医療保険の適用による主に3つの段階があった<sup>1)</sup>。リハビリのことを中国では「康復 (カンフー)」と言い、台湾の「復健 (フージェン)」とともに、リハビリの復権的意味合いをもっている。中国のリハビリ医療は、中医療養型から始まり、戦争が終結した1950年前後より負傷した軍人障害者のために療養型病院が建てられた。さらに1988年には、障害者福利基金会 (1953年設立) と中国視覚聴覚障害

者協会 (1983年設立) によって中国障害者連合会 (China Disabled Persons' Federation : CDPF) が設立された。同年に、日本ジャイカの支援を受け、中国リハビリ研究センター (China Rehabilitation Research Center : CRRC) も設立された<sup>1-2)</sup>。そして、2008年5月12日に中国四川省汶川 (ぶんせん) 地方に大地震が発生し、死者・行方不明者は約87,100名、負傷者約374,600と甚大な被害を受けた。この地震に際して、香港理工大学などが四川省の大学と病院とカウンターパート方式による Stand TALL 計画 (障害者自立とリハビリ教育支援) を実践させ、障害者自立の意識向上によって中国のリハビリが推進された。

中国リハビリ医療政策は、1990年代後半より本格的に始まった。1996年に中国衛生部 (厚生労働省相当) は「総合医院リハビリ医学科管理規範」を公布し、総合医院の一臨床部門として二級～三級のリハビリ科の設置を義務付けた。以後、中国各地でリハビリに関わるインフラ整備が推進され、リハビリの専門病院は225施設 (2009年) から396施設 (2014年) になり、5年間で1.76倍になった<sup>3)</sup>。2011年には、中国人民健康保険 (国民医療保険相当) によって一部のリハビリ診療項目がカバーされ、中国のリハビリ医療がさらに加速

受付日：2023年10月19日、採択日：2023年11月2日

- 1) 中国湖南省人民病院 リハビリテーション科 (康復科第二病棟)
- 2) 国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻
- 3) 西九州大学大学院 地域生活支援学専攻
- 4) 西九州大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

した。2012年時点で中国全土総合病院の24.6% (3,288か所) がリハビリ科を設立しており、その中で50%のリハビリ科専門の病棟も設置された。また、リハビリ専門病院は国内の専門病院の9.1% (338施設) を占め、リハビリ科のベッド数は全国衛生機構総ベッド数の1.18%に相当するようになった。その内訳は、75.71%が総合病院、24.29%がリハビリ専門病院である。一方、リハビリ科従事者は、リハビリ科専門医15,949人、セラピスト13,747人、看護師10,137人であった<sup>4)</sup>。ちなみに、同時期の日本の理学療法士は83,939人<sup>5)</sup>、作業療法士は39,305人<sup>6)</sup>、言語聴覚士が20,373人<sup>7)</sup>であり、当時の中国人セラピストは極めて少ない状況であった。

### 3. リハビリ医療関連資格

中国の医療関連資格は、大きく分けて医師、看護師、技師（セラピスト）の3つに分類される。また、医師の中でもさらに医師（西洋医）と中医師（漢方医）と歯科医師に分類される。それぞれの医師は5～6年教育が一般的であり、医師の数が看護師の数よりも多い国である。

セラピストにおいては、理学療法士、作業療法士と言語聴覚士の名称独占のライセンスはなく、職種も厳密に分けていない医療施設が多い。一般的に、リハビリ分野のセラピストを「康復治療師」と通称し、理学療法士（Physical Therapy：PT）は「物理治療士」と言われ、針灸とマッサージを行う「康復理療師」と区別される。また、PTおよび作業療法士（Occupational Therapy：OT）、言語聴覚士（Speech therapist：ST）は、3～4年の共通教育を経て、卒後に就職先の需要によってそれぞれの職種につく場合がほとんどである。なお、中医師と看護師の資格を有した個人が転職し、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士として働いていることが多い。中国国内のリハビリ関連団体が、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の国家資格制度の確立に向けた働きかけを中国衛生部（日本厚生労働省相当）へ行い、2006年にリハビリ医療の専門技術者という認証制度がスタートした。同時に、養成期間（3年～4年）の養成校（専門学校、短大、大学）が設置されたが、専門性（リハ系か体育系）や等級と従業年数（初級か中級）などが複雑な認証制度であるため、合格者が依然として少なく、それぞれの職能を高めるためのセラピスト資格制度を整備することが中国政府に求められている<sup>8)</sup>。

### 4. リハビリ専門職の人材育成

1990年代のリハビリ専門職の人材育成では、専門学校の長沙民政学院（湖南省）と短期大学のジャムス大学康復学院（黒竜江省）がその中心的存在であった。2000年代になると、日本の無償資金協力によって設立した中国リハビリテーション研究センター（China Rehabilitation Research Center；CRRC）がリハビリ専門職の人材育成の中心になった。その後、北京首都医科大学のリハビリ治療学専攻が併設され、理学療法士を初めとするセラピストが養成される中国初の4年制大学となった。以後、南京医科大学、中山医科大学（広東）にも加わり、理学療法士専攻（図1）、作業療法士専攻（図2）が併設され、セラピストの養成を本格化させた。その後、理学療法士および作業療法士の養成校が徐々に増え、現時点では理学療法士・作業療法士養成校は、専門学校が110校、大学が44校になり、その数は更に増加している。しかし、理学療法や作業療法を混同するなどの地域差もあり、さらに大学の多くは未だに中国の沿岸部に集中している状況である。

教育養成期間は3～5年とまちまちであり、各教育機関の教育プログラムも各地方や養成校で異なり、中国全土における画一的なプログラムが整備されていない



図1. 理学療法士の臨床研修



図2. 作業療法士の臨床研修

い<sup>9)</sup>。一方、リハビリ専門医師は、医科大学のリハビリ医師課程（5～6年制）を卒業するか、または他領域医師から転職したケースが多く、大学卒業後は職業医師法（1999年施行）により国家試験を受けて合格することで中国のリハビリ専門医としてのライセンスが認められる。

## 5. 中国リハビリテーションの現況

2019年に中国政府が打ち出したスローガンである「健康中国行動2019～2030」では、“2022年までに中国全土の三級以上の中医病院の75%以上にリハビリ科を設置する”という目標を打ち出した。2023年現在では、総合病院におけるリハビリ科の設置がすでに10,000か所を超え<sup>10)</sup>、リハビリ専門病院も706施設（2019年）となり、2014年の設置数の1.78倍に増加した。2020年以後、中国のリハビリは80年代の躍進から今日までの40年間以上の発展を遂げており、医療施設も教育施設も一定の規模に達した。これにより、中国の人々は、急速な経済成長の時期を経て、高い生活水準と改善された健康を手に入れることができるようになった。しかし同時に、人口の少子高齢化と大規模な都市化、工業化、環境衛生への脅威の増大、健康格差の拡大などの問題に直面している。そのため現在では、中国リハビリ医学会などの関連団体や人民代表大会（国会相当）代表の提案により、高齢者福祉とリハビリへの政府による投資が増加され、さらに各種の政策面の推進と積極的な国際交流などにより、中国のリハビリ医療と教育の環境が大きく変化してきている<sup>11)</sup>。

## 6. 人材育成をはじめとする中国リハビリ医療の問題点

中国には「十年樹木、百年樹人」の諺があり、木を育てるには十年、人を育てるには百年が必要であると、人材を育成する難しさを比喻している。セラピストの国際基準によると、人口10万人あたり、低くとも15人以上の理学療法士と8～10人の作業療法士が必要とされる<sup>12)</sup>。各国が養成しているセラピストの数については、超高齢化社会である日本は最も多い888人<sup>5)</sup>、ノルウェーでは145人、アメリカ、カナダ、欧州ではおよそ40～70人<sup>13)</sup>に対して、中国ではわずか0.4～10人で、地域の差も大きい<sup>14)</sup>。また、米国、カナダ、日本、その他の国と比較すると、中国におけるリハビリセラピストの養成教育はまだ統制されていない。国際的なセラピストの養成は、理学療法士、作業療法士、言語

聴覚士などの職種別に教育することを世界理学療法士連盟（World Physiotherapy：WP）や世界作業療法士連盟（World Federation of Occupational Therapists：WFOT）は提唱しているが<sup>15)</sup>、中国でWPとWFOTの認定を取得している大学は、首都医科大学リハビリ学院など少数の大学のみであり、ほとんどの大学のリハビリ療法専攻では理学療法と作業療法を区別していない。またWPやWFOTの最低限の教育基準さえ満たさず要件も満たしていないため、国際システムとの統合はさらに困難なままである。さらに人口割の就業人数において、中国リハビリ医学会の調査では、2030年までには少なくとも30万人の療法士が必要と考えられ、その内訳は、理学療法士が18万人、作業療法士が9万人、言語聴覚士が1.5万人、義肢装具士（中国ではリハビリ工学士、または補具士という）が3.5万人とされている。この基準でリハビリ人材の需要を10年以内に充足しようとするれば、少なくとも毎年3万人のリハビリの専門技術者の養成が必要であるが、養成校の不足のために目的を達成することは困難である。現段階で正規のセラピストの養成教育だけでは突き進める中国の高齢化社会に十分に対応できず、中医、看護、スポーツなど医療と健康に関連する領域からの転職者において、リハビリの研修制度を設けている臨床での中長期の研修が避けられず、さらに海外の教育機関との提携など、実践力が伴う多くのリハビリ専門家を育成していくことが今後の中国のリハビリ医療の課題である。

## 7. まとめ

中国ではリハビリに対する需要が非常に高い一方で、専門的な知識や技術を持ったリハビリ専門職が不足している。その背景には、中国のリハビリ専門職の資格制度や教育制度の不備と、リハビリを提供するシステムの構築の遅れが考えられる。これらについては、中国政府やリハビリの各関連団体等も認識しており、総合的なリハビリシステムの強化を模索し実行する最中であり、今後の更なる進展が期待される。

## 謝辞

本寄稿は、貴重な資料を提供して下さった中国康复研究中心北京博爱医院／首都医科大学康复医学院の李博杨、密忠祥、劉恵林、黄軍、ならびに中山大学附属第三医院の唐明先生に深謝申し上げます。なお、本報告において申告すべき利益相反はありません。



## 引用文献

- 1) 李林：国外物理治療師の培訓情況及其對我國的啓迪. 中国康復理論与实践2002, 8 (5) : 316-317
- 2) 王玉龍：康復治療師教育體制的探討. 中国臨床康復2002 (5) : 742-744
- 3) 末森満：中国リハビリテーション専門職養成プロジェクト終了時評価調査報告書, 独立行政法人国際協力機構人間開発部, JICA 報告書 PDF 版, 2006(8), 22
- 4) Zulin Dou, Qinglu Yang, Zhiming Tang : 中国におけるリハビリテーション医学の発展, 総合リハビリテーション41 (7) : 649-653, 2013
- 5) 日本理学療法士協会\_統計情報 <https://www.japanpt.or.jp/activity/data/> 2023.10.10
- 6) 事務局統計情報委員会：2017年度日本作業療法士協会会員統計資料, 『日本作業療法士協会誌』第79号：2018年10月15日発行 pp. 12-25
- 7) 一般社団法人日本言語聴覚士協会 <https://www.japanslht.or.jp/what/> 2023.10.10
- 8) 社会医療法人財団慈泉会：中国におけるリハビリテーションクリニック&研修センター（仮称）開設及び事業運営に向けた需要調査プロジェクト報告書, 平成24年度日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業2013(3)
- 9) 中国教育部：中国高等教育大专院校专业设置概览, 高等教育出版社, 北京, 2010, 31
- 10) 励建安：辞旧迎新, 继往开来, 中国康复医学杂志, 2019, 34(1) : 1 - 3
- 11) 厚生労働省医政局医療経営支援課研究班：海外における医療法人の実態に関する調査研究, 平成28年度医療施設経営安定化推進事業, 株式会社川原経総合センター：2019(3)
- 12) 王玉龍. 康復治療師教育體制的探討. 中国臨床康復2002, (5) : 742-744
- 13) 謝凌風, 許濤, 劉雅麗, 他：我國康復治療技術崗位需求預測研究. 中国康復醫學雜誌2019, 34 (10) : 557 - 560
- 14) 戴紅, 卓大宏, 卫波, 他：我國康復治療技術崗位需求預測研究. 中国康復醫學雜誌2003, 18(12)36-39
- 15) Sinclair K.Occupational therapy impacts communities and populations:implications for education and research. 中国康復醫學雜誌2010, 25 (増刊) : 69-70